インドネシア

スマラン港開発事業（第2期）

新設されたコンテナ埠頭

[借款概要]

承諾額/実行額	11,120百万円／6,621百万円
借款契約調印	1991年9月／1992年10月
借款契約条件	金利2.6%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1999年10月／1999年11月

[事業概要]

ジャワ島中部のスマラン港において、コンテナ埠頭・ヤード等を建設するとともに、クレーン等、貨物取扱設備の調達の他、航路の浚渫等を実施することにより、同港のコンテナ貨物の増加に対処するもの。

[評価結果]

スマラン港は、円借款による第１期拡張事業（1986年完成）により1万トン級船舶の接岸が可能になったが、その後同港におけるコンテナ貨物の増加に対処するため、第2期事業として本事業が実施されたものである。本事業によるコンテナ埠頭の完成（1997年）により、コンテナ貨物の入港までの待ち時間は2～3日から、通常で約7時間、最大でも1日まで短縮されている。同港全体の貨物取扱量を見ても、一般貨物が3百万トン／年前後で推移している一方、コンテナ貨物はコンテナ埠頭完成前の1996年から2000年の間に約1百万トン／年から1.9百万トン／年へと2倍近くまで増加した。本事業はこのような同港の能力向上を通じて、物流の効率化に寄与したものと評価される。

なお、本港の運営・維持管理に関しては、これまでのところ財務・組織面の能力に特段の問題はなく、コンテナ貨物の取扱いについてはコンピュータ化も図られるなど適正に行われている。